

職場環境改善の工夫について

工事名：令和元年度 葵南市道 第13号
有永漆山線道路改良工事（軟弱地盤対策工）
地区名：静岡地区
会社名：平井工業株式会社
執筆者：遠藤 貴俊（技術者番号：00107243）

1. はじめに

現在、建設業の働き方改革が官民を挙げて求められているなか、『建設工事従事者の安全及び健康の確保の推進に関する法律に基づく基本計画』において、建設現場における建設工事従事者のメンタルヘルス対策の自主的な取り組みの促進が明記されている。また、厚生労働省も重層請負構造からなる建設現場等におけるメンタルヘルス対策の取り組みを推進・公示し、建設現場におけるメンタルヘルス対策は、いまや政府を挙げての取り組みとなった。建設現場で働く作業員のメンタルヘルス不調（慢性的な睡眠不足や高ストレスの継続による体内ホルモンの崩れが引き起こす脳血流の低下による認知機能への悪影響）を未然に防止し、より働きやすい環境となるよう職場環境の改善を講じていくことが必要となる。ここでは私が現場で実践した職場環境改善策（リスク軽減措置）について述べる。

2. 工事概要（検証現場）

工事名：令和元年度 葵南市道 第13号 有永漆山線道路改良工事
（軟弱地盤対策工）
発注者：静岡市長 田辺 信宏（静岡市建設局道路部葵南道路整備課）
工事場所：静岡市 葵区 前林、漆山 地内
工期：（着工）令和元年 10月 18日
（完成）令和2年 5月 25日
工事内容：工事延長 205.5m 道路幅員 19.00m
地盤改良工（路床安定処理）2,488m²、擁壁工（L型擁壁） 83m
道路土工（路床盛土工） 1,400m³、道路土工（路体盛土工）2,040m²

3. 問題点

現場における労働災害に直結する不安全行動の一部に『睡眠不足』や『うつ』と言ったメンタルヘルス不調が存在している。現場で働く労働者の小さな異変を早期に発

見しストレス状況を把握することが、一番の安全行動への近道である。労働安全衛生法等、法令によって求められるメンタルヘルス対策は、原則として事業者責任で行うものであるが、現場作業所単位で運営されることが多く 建設業の特性をかんがみると事業者だけで現場で働く労働者の心身の健康をケアすることは困難である。



図-1 メンタルヘルス不調要因

4. 解決策

法令に定める事業者責任による取り組みに、現場での取り組みを付加し連動させながら進めて行くことが不可欠である考え、メンタルヘルスを維持するための職場環境改善策を検討した。

4-1. ストレスの数値化と職場環境改善策の策定

本工事で従事する作業員のストレス状況を把握するため、作業員全員を対象とした無記名のストレスチェックの実施を行った。

まず、作業員に無記名のストレスチェックの趣旨及び実施方法を説明した。その後、職業性ストレス簡易調査票 (図-2) の配布し回答してもらった。

調査票回収後、集団分析を行いストレスの数値化及び全国の建設現場の標準値との対比により当該現場のストレスの特徴を評価した。

職業性ストレス簡易調査票 (簡易版23項目)		所属会社名			
		姓	名	部	課
A あなたの仕事についてうかがいます。 最もあてはまるものに○を付けてください。		そ う だ	そ あ だ	や ち う	ち や う
1 非常にたくさんの仕事をしなければならぬ	1 2 3 4				
2 時間内に仕事を処理しきれない	1 2 3 4				
3 一生懸命働かなければならぬ	1 2 3 4				
4 自分ペースで仕事ができる	1 2 3 4				
5 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる	1 2 3 4				
6 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	1 2 3 4				
B 最近1か月間のあなたの状態についてうかがいます。 最もあてはまるものに○を付けてください。		ほ ん と だ	あ ん ど だ	あ ん ど だ	ほ ん と だ
7 ひどく疲れた	1 2 3 4				
8 へそとだ	1 2 3 4				
9 だるい	1 2 3 4				
10 気がはりつめている	1 2 3 4				
11 不安だ	1 2 3 4				
12 落ち着かない	1 2 3 4				
13 ゆううつだ	1 2 3 4				
14 何をすることも面倒だ	1 2 3 4				
15 気分が晴れない	1 2 3 4				
17 食欲がない	1 2 3 4				
20 よく眠れない	1 2 3 4				
C あなたの周りの方々についてうかがいます。 最もあてはまるものに○を付けてください。		ま ん だ	ま ん だ	ま ん だ	ま ん だ
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか?					
1 上司	1 2 3 4				
2 職場の同僚	1 2 3 4				
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか?					
4 上司	1 2 3 4				
5 職場の同僚	1 2 3 4				
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか?					
7 上司	1 2 3 4				
8 職場の同僚	1 2 3 4				

※ご協力いただきありがとうございます
出典「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施マニュアル」厚生労働省 平成27年3月

図-2 職業性ストレス簡易調査票

表-2 職場環境改善シート

無記名ストレスチェックに基づく職場環境改善シート(RA方式)		現場内 担当者 実施期		3名未満、性別不明、国籍不明、第1号健康診断未実施、労働安全衛生法第67条第2項(2)		作業日					
改善項目	改善状況	リスクの発現もつ						リスク低減措置	リスク低減効果	評価の 分類	備考 (実施結果等)
		調査方法		調査の頻度		調査結果					
		調査回数	調査項目	調査回数	調査項目	調査結果	調査結果				
1	作業の手順表等に作業員の意見を反映している	2	2	1	1	2	1	2.0	作業の手順表について作業員から意見を収集し、作業の手順表について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
2	作業担当者によって決定できる仕事の範囲を定めている	2	2	1	1	2	1	2.0	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
3	特定の個人やグループに作業が偏らないように指導している	1	1	1	1	1	2	1.5	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
4	疲労感が得られるような個人の作業を定めている	1	1	1	1	1	2	1.5	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
5	必要な情報の伝達に遅れがちなようになっている	1	1	1	1	2	2	1.7	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
6	長時間労働の取組を行っている	2	2	2	1	1	2	2.0	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
7	業種や職種ごとの作業手順(施工方法)を見直ししている	1	1	1	1	1	1	1.0	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
8	休日・休暇が十分とれるよう配慮している	2	2	2	1	1	2	2.0	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
9	十分に休息できるような勤務体制をとっている	2	2	2	1	1	2	2.4	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
10	個人の生活スタイルに合わせて作業時間を柔軟に調整することができる	2	2	2	1	1	2	2.4	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
11	負担を軽減するために作業手順を見直ししている	1	1	1	1	1	1	1.0	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
12	仕事量や作業内容が適切に把握されている	1	1	1	1	1	1	1.0	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
13	作業の指示や作業内容がわかりやすい	1	1	1	1	1	2	1.5	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
14	作業・過重・単調作業の負担を軽減する取組を行っている	2	2	2	1	1	2	2.4	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
15	ヒューマンエラーを防止するための取組を行っている	2	2	2	1	1	2	2.4	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
16	過酷な環境や環境に配慮している	2	2	2	1	1	2	2.4	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
17	健康を維持するための取組を行っている	2	2	2	1	1	2	2.4	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
18	職場の危険要因を防止対策を行っている	1	1	1	1	1	2	1.5	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
19	発生したインシデントや事故の発生原因を調査している	1	1	1	1	1	2	1.5	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
20	緊急時の対応体制を整えている	1	1	1	1	1	2	1.5	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
21	作業員の健康に対して、または健康が失われるのを防ぐ取組を行っている	1	1	1	1	1	2	1.5	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
22	作業員の健康がコミュニケーションをとりやすいように配慮している	1	1	1	1	1	2	1.5	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
23	チームワークがとれている	2	2	2	2	2	2	2.0	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
24	作業の出来栄を定期的に見ている	1	1	1	1	1	2	1.5	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
25	作業または作業員の健康状態を定期的に確認している	1	1	1	1	1	2	1.5	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
26	個人の健康や安全に関する取組を行っている	2	2	2	1	1	2	2.4	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
27	ストレス対策方法について取組を行っている	2	2	2	1	1	2	2.4	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
28	仕事の質的改善に取組んでいる	2	2	2	1	1	2	2.4	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
29	仕事の質的改善に取組んでいる	2	2	2	1	1	2	2.4	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
30	事故・業務改善の機会を公平に与えている	2	2	2	1	1	2	2.4	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		
31	緊急時に備える心のケアを実施している	2	2	2	1	1	2	2.4	作業員が作業の範囲について作業員等と決定できる範囲を確保している。高圧電線作業の危険性を十分に認識し、作業員に伝えている。		

4-2 具体的な取り組み

1) 朝礼時のマッサージ運動

以前より弊社では朝礼時に肩もみ・肩たたきをラジオ体操終了後に取り入れていたが、これは作業員同士のコミュニケーションを図る目的もあるが、職員による作業員に対する健康チェックやその後の朝礼での安全指示を聞きやすくする効果もあるため実施していた。

職員及び作業員同士がスキンシップを取ることで気軽にコミュニケーションが取れるようになり、チームワークづくりが進展し作業環境が向上した。



写真-1 肩もみ活動



写真-2 肩たたき活動

2) 作業前の健康 KY の導入

作業員の健康状態等を毎日確認することで、作業員個人が自分の状態に気付き対処できるとともに、職長や作業員同士がお互いに小さな変化に気付き合える関係性の構築を行った。

その結果、職長が作業員の不調のサインに早めに気付くことができるようになり、早めの対処が可能となった。



写真-3 健康 KY 活動



図-4 健康 KY の進め方

5. メンタルヘルス教育の実施

毎月1回開催する安全教育実施時にメンタルヘルスに関する教育及びストレス対処方法等の指導を行った。

その結果、メンタルヘルスやストレスに対する知識が豊かになり、作業員の健康維持に寄与した。



写真-4 メンタルヘルス教育実施状況

6. おわりに

少子高齢化による建設現場の担い手の不足が懸念されているなか、働き方改革の実施が喫緊の課題である。今回実施した職場環境改善を目指したメンタルヘルス対策は労働改革に大きく寄与すると考える。

今回の経験を生かして今後更なる職場環境改善に取り組むと同時に、自己研鑽に努める所存である。